

「コロナ」のせいでこの季節、さわやかなはずが落ち着かぬ。

職員に以下の訓示をした。

【「コロナ」予防のための注意点】

施設 ①東西南北、必ず両側の窓を開け続けて、風を通すこと
スタッフも利用者様も、寒ければ冬服を羽織って下さい
(寒ければ窓を閉めずに、服を着ること)

②車の窓も①と同じく開け続ける

③手すり・ハンドルを毎日消毒

個人 ①マスクの表面を触らない

②目、鼻を手指でこすらない(最も危険な行為)

③手洗い・手指消毒



忘れてならないのは、自宅が最も「3密」だということ。窓を閉めて飯を食えば、居酒屋と同じ。つまり2人以上出会う場面は、仕事場でも、店でも、自宅でも注意点は共通だ。

また、最近の外来で気になることは、

①「外出規制」のため患者さんが外に出ず、糖尿病や高血圧が悪化している事

②院内感染を恐れて薬を取りに来ない方がいる事

③コロナを恐れてノイローゼ(少数だけど)など

それらに対して、

①について…田んぼの多い半田・阿久比は都心と異なり、道に人が居らず、出歩いての感染はほぼ皆無だ。

②について…現在医院は窓全開。さらに自動車待機で、携帯電話呼び出しサービス中。

③について…テレビの観過ぎ。観なければ良い。コンクリートの谷間に人間が密集している東京の特殊な状況ばかりを繰り返し放映している。テレビは扇情的なので、ラジオの方がよい。緑の多い知多半島には、人に接触せずに楽しめる場所が多数存在する。テレビに洗脳されないよう注意が必要だ。

などと説明している。

現在の都市封鎖は、「感染爆発＝医療崩壊」を防ぐための一時的措置であり、「コロナ」の撲滅が目的ではない(撲滅はもう不可能だ)。続けられれば「経済崩壊」が起こるため都市封鎖はせいぜい2ヶ月で解除し、以後は封鎖時の人々の行動変容(マスク、消毒、換気、3密を避けるなど)の持続に期待して、スローペースの患者増大を目指す。

治療薬「アビガン」の普及(約半年後)やワクチン(約1年半後)などで発生率を下げ、2年半後には国民が集団免疫を獲得し収束させる目論見だ。

問題点は、

①途中で人々の気が緩めば、感染爆発第2波、第3波が起こり得ること。

②当初、巨額な補償費を補うための増税や、国内や海外コロナの経済停滞の影響による不況の持続のため、国家予算が欠乏し、いずれ医療・福祉などのサービスの低下が起こること。

バブルの余波が30年、リーマンショックの余波が10年続いたように、コロナの余波も数年続く。日本でコロナが収束しても世界からの感染にさらされるため、終わりの見えぬ窮屈な戦時体制(3密を避けるための日常生活の制限)がこれからも2年間必要となる。

その際に大切なのは、本人と家族の、心と体のパワーを維持する事と、お金を大切にすることだ。

前者の為には、

①最初に書いた『「コロナ」予防のための注意点』を実行し続けることだ。

②健康維持のため、ごく当たり前だが、これから2年間本人家族共に食事に気を付け、早く寝て、運動し続ける事により、これから巷に溢れるであろう「コロナ」に対する抵抗力を持ち続ける。「人に接触せずに！」外で運動して下さい。

どうか頑張り過ぎずに、しかし、粘り腰で、自分と家族を守るため、当面はやるべき事をやり続けましょう！

ハーブ内科皮フ科 理事長 竹内 秀俊



密集回避

密室回避

密接回避

【運動療法デイサービス】

デイの男性利用者様は器用な方ばかり☆彡

新聞紙を利用したごみ箱作りを、「今日もつくろうか！」と率先して作って下さいます。

初めてお願いした頃は、形がいびつだったり、一枚仕上げるのに

四苦八苦でしたね。それが今では形もそろい、あっという間に何枚も作って下さいます。感謝です。時々洗濯物を干したりただんだり、お手の物です。スタッフより上手だったりして(苦笑)



【くもん学習療法】

くもん学習の読み書き教材には色々な教材がありますが、読んでいる途中で、つい歌い出してしまうのが、童謡や唱歌です。読み始めて1行ぐらいすると音程を付けながら読まれます。歌の題名はわからなくても子供の頃に歌った記憶が蘇るのかもしれない。その歌を子供の時よく歌った、母がよく歌っていた等、昔を思い出し、お話していただけます。

楽しい気持ちでこの時間を過ごして頂けたら嬉しいです。



【ゆいまある】

ご利用者の誕生日にお誕生日会を開いています。飾りつけ・ケーキの準備をして始まります。まずは皆様と一緒に「ハッピーバースデー」の歌を歌い、ケーキのろうソクを消してお祝いします。なかなかろうソクが消せない方はスタッフと一緒に消したり手で消したりしています。皆様から「お誕生日おめでとう」などのお祝いの言葉をいただくと、とても素敵な笑顔が見られます。

スタッフからは手作りのお誕生日カードをプレゼント。その後はお楽しみのケーキを食べます。大きなケーキですが皆様残さず召し上がられます。

いくつになってもお誕生日のお祝いはうれしいものですね！



スタッフブログを毎週更新中！

ハープ内科 検索

発行元:医療法人ハープ内科皮フ科
株式会社ハープライフケア

所在地 知多郡阿久比町横松宮前 67
TEL 0569-49-2752/FAX 0569-49-2753